

第22回釧路家庭裁判所家庭裁判所委員会議事概要

議題 少年事件について

1 開催日時

平成24年3月7日（水）午後1時30分から午後3時45分まで

2 開催場所

釧路家庭裁判所5階第1会議室

3 出席者等（50音順・敬称略）

(1) 委員

天内文夫，石井宏臣，大津久幸，多田摩由美，多田みゆき，林 圭介，間宮政喜，丸山哲巳，水野谷幸夫

(2) 裁判所（説明者）

末神克之（事務局長），阿曾直樹（首席家庭裁判所調査官）

(3) 庶務

宮木隆壽，卯城賢志，山口 毅

4 議事概要

(1) 新委員紹介及び挨拶

新たに家庭裁判所委員会委員を委嘱された大津久幸委員，石井宏臣委員，林圭介委員及び多田摩由美委員が委員会庶務から紹介され，挨拶をした。

(2) 委員長の選任

委員の互選により，林圭介委員が委員長に選任された。

(3) 委員長代理の指名

委員長が，丸山哲巳委員を委員長代理に指名した。

(4) 少年審判手続と少年鑑別所について

阿曾首席家庭裁判所調査官が，少年審判手続及び少年鑑別所について説明を

した。

(5) 施設見学

釧路少年鑑別所の施設見学を行い，帰庁後，意見交換を行った（発言の要旨は，別紙のとおり）。

(6) 平成23年の釧路家庭裁判所の家事事件等の概況について

末神事務局長が，平成23年の家事事件等の概況について説明をした。

(7) 平成23年の釧路家庭裁判所の少年事件の概況について

阿曾首席家庭裁判所調査官が，平成23年の少年事件の概況について説明をした。

(8) 次回開催日時及び議題

平成24年7月11日（水）午後1時30分から午後3時30分まで

議題 児童虐待について

(別 紙)

意見交換における発言の要旨

1 少年事件について

委員： なぜ少年事件が減少したのかは、実証的なものはないが、最近の少年は、おとなしいイメージがある。パワーもないし、つるむこともない。

委員： 今の少年は、昔よりも悪くなったような気がする。訳が分からないし、すぐにキレるし、努力をしないし、全てに欠けているような気がする。また、子が悪いことをすると、その親は養護するというか、逆ギレをしたりするので、むしろ前の世代が悪いというか、根が深いような気がする。その辺をもっと掘り起こさないと、社会全体が悪くなる。

委員： 非行の内容は、特徴的なものがあるのか。それは、昔からのものなのか、それとも、今ならではのものなのか、または、家庭の問題なのか。

説明者： 事件の動向から見ると、昭和60年前後が第三のピークである。その後、減少に転じたが、平成10年から12年にかけて増加した。非行の内容については、窃盗が圧倒的に多く、いわゆる凶悪事件といわれる殺人、強盗及び強姦については、おしなべて減少している。事件の動向から見ても凶悪化と全く正反対の現象が起きている。少年の人口自体も減少しているというのもあるが、割合的にはそれほど変わらない。

委員： 先日、山口県光市の母子殺人事件の死刑判決が出され、これから社会がどうなるのか危惧したが、その報道が過熱していたということなのか。

説明者： そういうのもあると思う。未成年者による凶悪事件は、昔からあるし、現在ほどクローズアップされておらず、情報も今よりも発達していなかったもので、全国各地で起きていても、ニュース等で取り上げていなかったというのもあると思う。

委員： 私にも2人の小学生の息子がいるので、他人事ではないなと思う。母

親同士で情報交換をしている。私はいわゆる「金八先生」を見ていた世代であるが、その時とは違い、今は頭が良い子がいじめをしていたりする。「ドラえもん」でいうジャイアンではなく、デキスギくんタイプがいじめの司令塔となっている。ストレスが多いと思う。いわゆる「モンスターペアレント」な母親もクラスに二人はいる。教頭に言って担任を指名したりする。教師が親と子に気を遣いすぎだと思われ、子も教師を敬っていない。中学生になるともっとすごいという話も聞いたことがある。

委員： 全国的に少年だけではなく犯罪件数が減少している。釧路も減少しているが、理由は分からない。釧路よりもむしろ帯広の方がいろいろな事件が発生しているので、釧路の方がきちんとしているのではないかと。帯広と釧路では違う印象がある。

説明者： 少年の非行の動機が理解しづらいところがある。昔は単純な動機で非行をする子が多かったが、今は、発達障害の少年が非行をするケースが多い。保護者の影響というのも大きい。少年と1対1で面接を行うが、コアな部分というのは今も昔も変わらないと思う。しかし、保護者の対応は、昔と比べて明らかに違う。保護者も孤立しているので、困ったとき相談先がなかったりするのを、サポートしてくれるところを教えている。

2 釧路少年鑑別所の施設見学の感想等について

委員： 少年鑑別所の施設に有刺鉄線があったり、鉄格子のあるドアがあったのには驚いた。保護司をしている関係で少年との面接の部屋には何度か行ったことがあるが、そういうところしか知らなかったのだから、少年鑑別所はそれなりに厳しい環境にしていかなければならないのかと思ったが、私なりに考えると、ちょっと違うなと感じた。

委員： 少年鑑別所は初めて見たが、意外と狭かった。有刺鉄線もあったり、

刑務所に近い印象がある。少年犯罪も世襲が多く、教育を受けていない親の子がまた同じように犯罪を犯すというのもある。ミルクの入れ方が分からず、説明書すら読めないという親もいるので、そういった表に出ない状況で今後犯罪を犯す可能性が潜伏しているものが多いような気がする。

委員： 少年鑑別所は、建物が古く、寒いと思った。最近では、コンビニ等で見かける防犯カメラの精度も良くなっており、タクシーにも防犯カメラが装備されていたりする。そういったことが犯罪の抑止力となり、犯罪自体犯しづらい状況になっている。

以 上